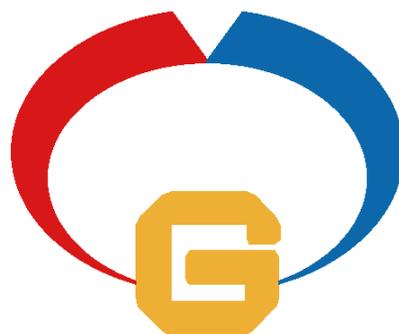


平成30年度 事業報告書

学校法人 後藤学園



【学園目標】

学びの中に楽しさを、厳しさの中に喜びを、
知識・技術と心の幸福な出会いの実現する授業を、
まこと信の教育の道として進みます。

目 次

I 法人の概要

1. 沿革	3
2. 設置する学校等の所在地	4
3. 役員の概要	4
4. 評議員の概要	4
5. 理事会・評議員会・常務会の開催状況	5～ 6
6. 学園を取り巻く環境	7～ 10
7. 広報活動	11～ 12
8. その他	13～ 23

II 事業の概要

1. 入学定員及び学生数	24
2. 教職員数	25

III 学校別事業報告

1. 専門学校武蔵野ファッションカレッジ
2. 武蔵野調理師専門学校
3. 武蔵野栄養専門学校
4. 武蔵丘短期大学

IV 財務の概要

* 数値は小数第2位以下を切り捨てて表記

I 法人の概要

学校法人後藤学園の歴史は、昭和 22 年に洋裁の技術者養成という社会的要請のもと設立された武蔵野ドレスメーカー女子学院にさかのぼることができる。その後、昭和 43 年に武蔵野調理師学校を、昭和 45 年に武蔵野栄養専門学校を相次いで設立し、調理技術・公衆衛生の知識を備えた調理師法に基づく調理師の養成、また栄養士法に基づく栄養士の養成を中心として「衣」「食」という実生活に直接係りある専門家の養成を行い、社会に有為な人材を数多く輩出し続けてきた。

さらに、社会全体が健康志向になるという社会的要請に鑑み、「健康」と「スポーツ」をテーマとした健康栄養と健康スポーツ両専攻からなる健康生活学科単科の武蔵丘短期大学を平成 3 年に開学し、現在は、健康マネジメント専攻を加え 3 専攻体制として幅広い分野で活躍する人材を社会に送り出している。

文部科学大臣の認定を受けた「職業実践専門課程」が新たな学校種への先導的試行として平成 26 年度からスタートしたことから本学園は積極的に取り組み、平成 27 年度までに対象となる 2 年制の学科、3 校 5 学科すべて「職業実践専門課程」の認定を得た。

武蔵丘短期大学、栄養専門学校は外部の評価機構からの客観的な評価を求め各々「第三者評価機構」の審査を受けてきた。調理師専門学校・ファッションカレッジの 2 校は、「教育の質保証」を謳う「職業実践専門課程における第三者評価（分野別）」を平成 28 年度に受審し、それぞれ適正な運営を行っているとの認定を受けた。

文部科学省は、実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関（専門職大学等）の制度化を決定したが、初年度の設置審査は極めてハードルの高いものとなった。

また、高等教育の無償化に向けた法整備も進んでおり、国会の審議通過後令和 2 年 4 月の実施となる見込みである。対象となる機関の認定申請は、令和元年度の夏ごろになると思われるので遺漏なく申請手続きを行う予定である。

このように本学園は、社会に対する即戦力を養成すべく体感・体験・体得を目的とする「身体で覚えた技術は一生を貫く」という教育理念のもと実学を重視し、「優れたプロは優れた人格を有する」ことから人格教育に力を注いできた。また、昨今の社会情勢を鑑み、教育の底流にある人間教育、人格を育てる教育について学園を挙げて取り組んでおり、徳育を重視し、情操豊かな人材の育成と専門教育という、その時代時代の社会的要請に応じつつ、国民生活・文化の向上に貢献しうる有為な人材育成に努めている。

1. 沿革

昭和22年	6月	東京都板橋区に「武蔵野ドレスメーカー女子学院」を設立。
昭和26年	9月	学校法人の認可を受け、「学校法人後藤学園 武蔵野ドレスメーカー女子学院」となる。
昭和29年	2月	「武蔵野クッキングスクール」設立。
昭和43年	4月	「武蔵野調理師学校」を設立。 厚生大臣、東京都知事認可、調理師養成施設となる。
昭和45年	4月	「武蔵野栄養専門学校」を設立。 厚生大臣、東京都知事認可、栄養士養成施設となる。
昭和50年	9月	武蔵野ドレスメーカー女子学院を「武蔵野服飾美術学校」に校名変更。
昭和51年	10月	専修学校法施行を機に、校名を「武蔵野服飾美術専門学校」、「武蔵野調理師専門学校」と変更。「武蔵野栄養専門学校」とあわせ、3校が専修学校として東京都知事認可となる。
昭和52年	4月	東京都板橋区徳丸に学生寮建設。
平成2年	10月	埼玉県比企郡吉見町に「後藤学園総合グラウンド」完成。
平成3年	4月	埼玉県比企郡吉見町に「武蔵丘短期大学」を開学。
平成7年	4月	武蔵野調理師専門学校、高度調理経営科（2年制）新設。
平成17年	4月	武蔵野服飾美術専門学校を「専門学校武蔵野ファッションカレッジ」に校名変更。
平成20年	4月	武蔵野調理師専門学校、ダブルプログラム科（2年制）新設。
平成23年	4月	武蔵丘短期大学開学20周年。
平成23年	9月	学校法人後藤学園設立60周年。
平成24年	4月	武蔵丘短期大学、健康生活学科（健康栄養専攻・健康スポーツ専攻）に新たに健康マネジメント専攻を開設。
平成26年	4月	武蔵野調理師専門学校高度調理経営科及び武蔵野栄養専門学校栄養科が、文部科学大臣認定「職業実践専門課程」となる。
平成27年	4月	専門学校武蔵野ファッションカレッジ2学科及び武蔵野調理師専門学校ダブルプログラム科が、「職業実践専門課程」として文部科学大臣の認定を受ける
平成28年	12月	武蔵野調理師専門学校・専門学校武蔵野ファッションカレッジが、分野別の第三者評価を受審。
平成29年	3月	「人格教育委員会」が“後藤学園の教育目標～「人格教育」への認識と取組”を発刊。

2. 設置する学校等の所在地

【法人事務局、専門学校武蔵野ファッションカレッジ、武蔵野調理師専門学校、武蔵野栄養専門学校】

〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-12-5

【武蔵丘短期大学】

〒355-0154 埼玉県比企郡吉見町南吉見111-1

3. 役員の概要〈平成31年3月31日現在〉

【理事】 定員 11人 現員 10人

理事長	後藤 人基	(学校法人後藤学園 学園長)
理事	川合 武司	(武蔵丘短期大学 学長)
理事	福島 正八	(武蔵野調理師専門学校 校長)
理事	片桐 芳子	(専門学校武蔵野ファッションカレッジ 校長)
理事	玉木 啓一	(武蔵丘短期大学 副学長)
理事	岩井 秀明	(武蔵野栄養専門学校 校長)
理事	太田 忠一	(大阪国際大学 名誉教授)
理事	根岸 成直	(前 武蔵丘短期大学 事務局長)
理事	福本 修也	(福本総合法律事務所 弁護士)
理事	三井 祐二	(前 学校法人後藤学園 スチューデントサポート部 部長)

※ 選任根拠条文・五十音順

【監事】 定員 2人 現員 2人

監事	峠 修治	(峠修治税理士事務所 税理士)
監事	若井 英之	(若井会計事務所 税理士)

※ 選任根拠条文・五十音順

4. 評議員の概要〈平成31年3月31日現在〉

【評議員】 定員 24人 現員 23人

後藤 人基	飯尾 哲司	上村 紀夫	大野 勝生	神原 晃
四方 聡	杉山 仁志	高橋 勇一	玉木 啓一	平田 憲巳
深田 由美子	雅楽川 典義	大野 強	小倉 展伸	小林 浩
藤澤 弘之	古本 舞	森 志麻乃	深山 英孝	三井 祐二
森本 嘉彦	岩井 秀明	片桐 芳子		

※ 選任根拠条文・五十音順

5. 理事会・評議員会・常務会の開催状況

(1) 平成30年度理事会の開催状況は以下の通りである。

区分	開催日現在の状況		開催年月日 開催時間	出席者数等			監事の 出席状況
	定員	現員(a)		実出席者数 (b)	実出席率 (b/a)	意思表示 出席者数	
理事会	11人	11人	平成30年5月31日 15:00~17:52	11人	100.0%	0人	2/2
			平成30年7月19日 13:30~13:35	10人	90.9%	1人	2/2
			平成30年7月19日 14:30~15:35	11人	100.0%	0人	2/2
		10人	平成30年9月27日 15:00~17:10	10人	100.0%	0人	0/2
			平成30年11月29日 15:30~18:40	10人	100.0%	0人	2/2
			平成31年2月3日 15:05~16:35	10人	100.0%	0人	1/2
			平成31年3月28日 15:05~17:20	10人	100.0%	0人	1/2

(2) 平成30年度評議員会の開催状況は以下の通りである。

区分	開催日現在の状況		開催年月日 開催時間	出席者数等			監事の 出席状況
	定員	現員(a)		実出席者数 (b)	実出席率 (b/a)	意思表示 出席者数	
評議員会	24人	22人	平成30年5月31日 17:00~18:00	21人	95.4%	1人	2/2
			平成30年7月19日 14:00~14:20	19人	86.3%	2人	2/2
		23人	平成30年9月27日 13:30~14:45	22人	95.6%	1人	1/2
			平成30年11月29日 13:30~15:15	22人	95.6%	0人	2/2
			平成31年3月28日 13:30~14:15	20人	86.9%	3人	1/2

(3) 平成30年度常務会の開催状況は以下の通りである。

区分	開催日現在の状況	開催年月日 開催時間	出席者数等	
	現員(a)		出席者数 (b)	出席率 (b/a)
常務会	8人	平成30年5月22日 13:30~16:40	8人	100.0%
		平成30年7月12日 13:00~14:00	7人	87.5%
	7人	平成30年9月19日 15:05~17:55	7人	100.0%
		平成30年11月22日 13:27~16:50	7人	100.0%
		平成31年1月21日 13:30~14:45	6人	85.7%
		平成31年3月19日 13:30~14:25	7人	100.0%

6. 学園を取り巻く環境

(1) 教育環境変化への対応について

①文部科学省の専門職大学構想への取り組み

職業実践専門課程については、対象となる2年制課程は全て文部科学大臣の認定を得て新しい教育をスタートさせたが、更に新しい学校種として専門職大学構想が発表され、中教審答申を経て令和元年開校に向けた法整備がなされた。初年度においては、本学園としては申請を見合わせ、状況を注視してきたが、全国で16校の申請がなされ、設置審での答申では当初大学1校のみが認可となり、他の多くは申請取り下げをした模様であったが、11月に入り大学1校、短大1校が新たに認可された。専門職学科も新たな選択肢となることから注視していきたい。

また、令和2年度開設に向けての申請は、専門職大学が15校、短大が5校認可申請中の旨発表されている。

②高等教育機関の無償化について～高等教育の修学支援新制度～

真に支援が必要な低所得者世帯の者に対し、社会で自立し、及び活躍することができる豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成するために必要な質の高い教育を実施する大学等における修学の支援を行い、その修学にかかわる経済的負担を軽減することにより、子どもを安心して生み、育てることができる環境の整備を図り、もって我が国における急速な少子化の進展への対処に寄与する、ことを目的に制度化されたものである。

要件確認を受けた大学・短大・高等専門学校・専門学校が対象であり、支援対象者は、住民税非課税世帯及び準ずる世帯の学生であり、授業料及び入学金の減免制度の創設、給付型の奨学金の支給の拡充が行われる。施行日は、令和2年4月1日となっている。

機関要件の確認は、申請により行われるが、令和元年6月下旬以降に申請、7月中旬以降に審査が実施され9月中下旬に対象機関の公表の段取りとなっている。一方、給付型奨学金の予約採用は6月上旬から募集案内の配布となり、8月上旬が推薦期限となる見込みである。その後、日本学生支援機構の審査が行われ12月に採用候補者が決定されるスケジュールとなっている。

傘下4校すべてが、進路選択の際に本制度対象校として公表されているように準備していきたい。

(2) 近未来プロジェクトの推進について

～耐震補強工事及び大規模修繕計画への取り組み

学園の永続的发展、次代の学園像構築のためには、学園内外の課題への適切な対処が求められる。外部環境の変化や老朽化が進んだ池袋キャンパスの施設・設備面への対処も強く求められてきた。

池袋キャンパスについては、整備計画の策定に向けたランドデザインの構想、新号館の収容設備プランの構想、募集定員の考察・適正規模の算定等を具体化すべき時期と考え、近未来プロジェクトとして池袋3校の施設設備の老朽化への対処策を鋭意検討してきたが、現段階において建て替え等の抜本的解決策が各種の事情から現実的ではないと判断されることとなった。

今後は、既存の建物の耐震補強工事による安全性の確保と建物設備の延命化、インフラ面の見直しを含むリノベーションへと舵を切ることとなった。これまでは、耐震補強に先がけて3号館の建て替え工事についても検討中であったが、前面道路の制約上早期実施は見合わせざるを得ない状況となったことから各号館の耐震補強工事の全体プランに合わせて方向性を模索したい。

併せて学生募集に資する攻める修繕として大規模修繕計画に取り組むことになった。短期大学を含めた後藤学園傘下4校の大規模修繕を今年度から3年間で取り組む方針となった。各校別に施設設備不備事項一覧を作成し、安全性、教育上の必要性等の区分と実施時期についての優先度を基準に取り組みを開始することとなった。

7. 広報活動

(1) 社会的傾向および学生・生徒募集について

いわゆる「2018年問題」といわれる18才人口の急減期に突入した中、高校生の進路状況は大学進学率49.6%と全体の約半数を占めるまで伸張した。専門学校進学率は微減が続き16.1%、短大進学率は4.6%で25年連続減少となっている。また、入学定員割れとなっているのは、4年制私大の場合約4割、短大では7割を超えている状況である。

少子化、4大志向、地元志向、高卒就職の活況化、トレンドの移り変わり等による市場の縮小、競合乱立によって本学園にとって非常に厳しい募集状況であった。

(2) 広報活動における課題について

学校が学生を選抜するのではなく、学生が学校を選抜する時代となっている今、教育内容の充実を図ると共に、学校の魅力を高めるためにも学園環境の充実は募集活動と並んで重要であると考えます。

(3) 学園の特色を活かした募集活動

外報活動については、地道な活動に継続して取り組んだ。しっかりとした教育を行っている後藤学園という立ち位置を崩すことなく、高校教員・高校生及び業者に強く訴えかけた。東京・埼玉・千葉を最重要地区として再認識し、高校との緊密度を上げるべくエリア担当者を一部変更し、役職者を配置することとした。10年後を見据えた措置でもあり、次代を担う若手職員を新規採用し、育成していく。

令和2年より実施される入試改革とそれに伴う高校教育の変化については、情報収集を的確に行い各校にフィードバックしたい。短大で実施する授業料免除制度の拡充策を専門学校でも導入できないか検討し、併せて推薦条件の緩和も視野に入れ、意欲ある入学生を確保したい。

(4) 各校との連携強化について

ファッションカレッジでは、体験入学参加者のデータを詳細に記録し、状況に合わせて個別相談担当者を割り振り、効果を上げた。また、実績のある高校への訪問を片桐校長に同行して頂き実行した。

調理師専門学校では、模擬授業、見学会の受け入れを多く担当して頂いているが、

業者を介さない単独での授業依頼やPTAの学校見学会も行った。今後も家庭科教員を対象とした研修会や中学生の見学会の受け入れ、高校との授業連携等積極的に受け入れて行きたい。また、体験入学や学園祭では高校生の個別相談に学生にも加わってもらった。

栄養専門学校では、業者の助言により体験入学の演出を一部変更した。また、岩井校長の尽力により、東京都専門人材育成訓練生10名の入学者を確保した。短大では、特別奨学金入試制度を導入。令和元年度は健康生活奨励生制度を拡充する。入試委員会、学生募集対策室及び強化クラブ担当者と連携し、学生確保にあたりたい。

8. その他

(1) 働き方改革関連法への対応

「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」(平成 30 年 7 月 6 日公布)が成立し、①時間外労働の上限規制(平成 31 年 4 月 1 日施行)、②年次有給休暇の確実な取得(平成 31 年 4 月 1 日施行)、③正規・非正規労働者間の不合理な待遇差禁止(令和 2 年 4 月 1 日施行)などへの対応が求められることとなった。

①については、従前の三六協定が既に法律の上限範囲内となっており、平成 31 年 4 月 1 日付で職員代表と同協定を締結したところである。

②については、理事会(平成 31 年 3 月 28 日)で就業規則を改正し、年間で 5 日の取得を義務付けるよう規定した。

③については、厚生労働省により「同一労働同一賃金ガイドライン」が発表されており、私学向けの研修会に出席しながら、令和 2 年度に向けて規程改正等の準備を進めていく。

(2) 寄付金受入のための環境整備

文部科学大臣より「特定公益増進法人の証明書」(平成 30 年 7 月 13 日付)が交付されることとなった。これにより、個人の寄付者に対しては「特定公益増進法人への寄付による【寄付金額-2,000 円の所得控除】」、法人の寄付者に対しては「日本私立学校振興・共済事業団の受配者指定寄付金制度による【寄付金額全額損金算入】」という税の優遇措置を提示できる環境が整ったことになる。

また、理事会(平成 31 年 3 月 28 日)で「寄付金取扱規程」が新たに制定され、寄付金を取り扱う際の基本的なルールが明確になった。

今後は、寄付金募集公式ホームページの作成、税額控除法人への申請などを視野に入れて、次の施策を展開していくこととなる。

(3) 新たな補助金・助成金

①私立専修学校職業実践専門課程推進補助金

支給要件：交付年度の基準日(5月1日)において文部科学大臣の認定を受けた職業実践専門課程を設置する者

補助金額は職業実践専門課程の生徒数(5月1日)×4,000円

支給元：東京都

②特定求職者雇用開発助成金

支給要件：障害者等の就職困難者を、職業紹介事業者の紹介により雇い入れ、継続して雇用すること

支給元：厚生労働省

(4) 施設設備について

①東京都健康安全センターによる立入検査について

平成 30 年 7 月 18 日（水）に「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」第 11 条第 1 項に基づく立入検査が東京都健康安全センターにより実施された。対象となった建物は 1. 2. 5 号館であり、平成 25 年 2 月 12 日以来、約 5 年ぶりの立入検査となった。その当時の指摘事項は既に対応しており、おおむね改善済みではあったが、事前に保守管理業者と施設巡回を行う等の準備を行った。

立入検査の結果としては排水槽と消防用水槽の点検頻度を上げて月 1 回以上行い記録に残すようにとの指摘があったのみであり、その場で管理保守の委託業者に対応を依頼し、改善報告を提出した。その他の注意事項がいくつかあったが、いずれもすぐに改善を要するものではなく、東京都の検査員からは全体的に綺麗に管理しているとの講評であった。

②営造・修繕・購入について

池袋キャンパスにおける施設設備に関する修繕・物品購入においては法人事務局総務部が窓口となり対応することが多い。日常的な破損に対する補修が大半だったが、公益財団法人東京都私学財団による助成金を活用して武蔵野調理師専門学校 2 実習室のカメラ・モニター等を含めた A V システムを一新する等、学生満足度向上に向けた教育環境改善への設備投資を行っている。

修繕費が高額となったものとしては電話交換機の交換と消防設備点検で改修が必要とされた自動火災報知機の交換等がある。

そのような中で理事長が平成 30 年 12 月 18 日・19 日の 2 日間を掛けて全館すべてを隈なく視察し校舎の現状を確認する時間を持って、その内容に基づいて施設設備不備事項一覧を作成した。その結果、平成 31 年 3 月の理事会では令和元年度の当初予算として今後 3 年間は施設設備費（固定資産購入・修繕費）を増額して改修・補修を行うことが議決され、計画的に修繕を行うこととなった。

③施設貸出について

本学園は池袋駅から近く、他にはない大きな実習室と収容人数の多さから業界団体のコンクール等で施設利用の依頼が寄せられている。学習塾等による模擬試験で

の貸出も多い。

また、東京都の調理師試験会場となっているだけでなく、官公庁からの依頼もあり、東京都には製菓衛生試験・ふぐ調理師試験・クリーニング師試験での会場として、豊島区には夏休みの子ども料理教室等での会場として、複数の教職員の協力のもと、施設を貸し出している。施設貸出以外にも炊き出し等の協力や料理教室での講師依頼があり、社会貢献活動の一環としても取り組んでいる。

④経費削減の取り組み

経費削減の取り組みの1つとして電気小売事業者の変更による電気料金削減が挙げられる。平成31年4月からは板橋寮を含めて現状の約23%の電気料金が削減される試算となっている。ただし、平成30年度は記録的な猛暑が続いたことで特に1.2.5号館で朝方の空調機の使用が例年よりも激しくなり、結果として契約電力を超えて電気を使用することとなった。燃料調整費単価が年々上昇している状況を加味すれば、電気小売事業者の変更だけでは限界があり学園全体で節電に心掛ける必要がある。

また、老朽化した電話交換機入れ替えの際には、IP電話への変更により池袋・短大間の内線を実現しただけでなく、これまで用途不明だった契約電話番号を一つひとつチェックし不必要なものの解約を行った。

(5) 防火防災に関する取り組み

防火防災管理委員会を年に複数回開催し学園の防火防災の在り方について議論している。消防計画で定めた消防訓練・防災訓練として学生を交えた避難訓練に加え、平成30年度は非常放送設備やAEDの使用法を学ぶ時間を持ったり、池袋防災館での地震体験などを企画・実施したりと様々な取り組みを行った。また、平成25年12月に締結した豊島区との「帰宅困難者対策の連携協力に関する協定」に基づく帰宅困難者用備蓄品（食料）の賞味期限が迫っていたことから、対象となる備蓄品については防災意識の啓蒙を目的として学生に配付した。

他にも本学園では豊島区の防災危機管理課が事務局を務める池袋駅周辺混乱防止対策協議会の委員となっており、例年11月に実施している帰宅困難者対策訓練では総務部が通信訓練に参加し、武蔵野調理師専門学校の1クラスが帰宅困難者役として訓練に参加し、地域と連携した防災訓練を実施している。

(6) 学生支援への取り組みについて

近年、発達障害や心の問題を抱える学生が増加傾向にあり、学校教育においてもメンタル面でのサポートが不可欠となったことから、池袋キャンパスで2名・短大で1名のカウンセラー3名体制で学生のメンタルヘルスケアに取り組んできた。

他にも池袋の専門学校においては担任が学生対応についてカウンセラーと打ち合わせを行うコンサルテーションを実施している。また、学生の昼休み時間に予約がない場合はカウンセラーが主体的に図書室に足を運び、多数の学生と交流する時間を持つことで、カウンセラー来校の周知と、学生生活の実態把握に努めた。学校の特色の1つである担任制を補完するための教育相談体制の構築にも注力し、専門学校武蔵野ファッションカレッジで年3回、武蔵野調理師専門学校で年2回、学生の抱える問題をテーマにカウンセラーを交えた会議を開催し、組織的な対応の在り方について検討を重ねてきた。しかし、これらの施策を推進しても、学生の退学率は増加傾向にあることから、学生が持つ多様な事情に対応すべく退学の要因分析から始め、一層の対応策を練る必要があると考えている。

例年実施している池袋での教職員研修は7月に若手教職員を対象とした「ストレスについての理解とその対処法」をテーマに研修を実施し、問題の要因として挙げられるストレスについて教職員としての基本的な知識を習得する時間を持った。3月にはメンタルヘルスケアの担当者を対象とした「教育相談体制の構築・強化に向けたコーディネーターとしての役割」というテーマで研修を開催し、各校での組織的な対応について議論する場を持った。研修は蓄積されてこそ効果が出るものであるため、今後も継続して行っていきたい。

(7) 学生寮の運営について

学生寮では例年、消防訓練や各種イベントを以下のとおり行っている。平成30年度は防犯に力を入れ、親元を離れた入寮生たちに防犯意識を持ってもらうことを目的として、従前の警察による講演に加え、今年度から新しく入寮式直後に東京都消費生活総合センターによる出張講座を行った。また5月には防犯カメラを4台追加し、計8台で盗難や不審者対策を行うこととした。

<学生寮での各種イベント>

平成30年4月3日(火)	入寮式 東京都消費生活総合センターによる出張講座 寮監・寮生役員によるオリエンテーション
平成30年4月14日(土)	消防訓練(総合訓練) (有)出口消火器の協力 高島平警察署による防犯に関する講演

	歓迎会 各校教職員も参加
平成 30 年 5 月 27 日 (日)	[地域]町内会による赤徳公園清掃
平成 30 年 7 月 16 日 (月)	寮生による寮内大掃除と 流しそうめん
平成 30 年 7 月 19 日 (木)	部屋点検および夏休み前の諸注意
平成 30 年 11 月 11 日 (日)	[地域]赤塚農業まつりの神輿担ぎ
平成 31 年 3 月 26 日 (火)	教職員 50 名による寮清掃

(8) 図書室での取り組みについて

①基本データ

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入室者	H29	629	961	1,490	1,377	75	1,876	1,485	1,402	1,678	2,461	663	116	14,213
	H30	700	741	1,754	1,261	35	1,298	1,201	1,311	1,423	2,205	401	94	12,424
貸出冊	H29	234	238	379	335	32	240	280	189	383	308	78	24	2,719
	H30	364	221	372	314	6	179	261	239	226	174	85	10	2,451
問合せ	H29	141	136	212	210	16	163	179	204	302	365	95	57	2,080
	H30	200	179	289	205	26	58	200	284	192	251	85	36	2,005
P C利用	H29	41	44	39	44	2	44	32	89	34	159	16	2	546
	H30	74	14	45	35	1	21	17	154	72	179	10	0	622

蔵書は約 14,800 冊ある。平成 30 年度に購入した図書は 594 冊であり、寄贈・移管図書は 62 冊であった。図書リクエストは 40 件。年に 1 回 3 月に実施している図書資産実査では今年度の 1 冊の不明図書があった。

パソコン 7 台、蔵書検索システム用端末 1 台を設置しており、Wi-Fi も接続できる(同時接続可能人数 50 名)環境となっている。

図書室の広報活動として、携帯用・掲示用・学内 LAN 図書室 H P 用の 3 種の図書室カレンダーを作成しており、開室スケジュール・テーマ展示の案内・おすすめ図書の紹介を行っている。

②授業時間を使用した図書室利用について

新入生を対象とした説明会を総務部職員の協力により実施しており、その内容は図書室利用案内、本の所在調査と貸出演習、調べもの演習である。他にもホームルーム等で調べものをする時間として図書室を活用する場合がある(詳細は以下の表のとおり)。

期 間	内容 (回数)	利用学校、クラス
4月	ショップ企画 (1回)	ファッション マスター科
6月～7月	就職先情報収集 (5回)	調理 高度調理経営科
7月	「エスポワール」参考資料収集 (1回)	調理 ダブルプログラム科
9月	ショー制作の企画 (1回)	ファッション マスター科
10月	就職情報収集 (1回)	ファッション AP科
10月	デザインソースの収集 (1回)	ファッション 外部講師依頼
11月	スピーチ演習の準備 (1回)	調理 高度調理経営科
12月	美術関連資料の収集 (2回)	ファッション 外部講師依頼
12月～1月	学園祭向け情報収集 (13回)	調理 全学科
学祭準備期間	学園祭向け情報収集	調理、栄養
2月	ポートフォリオ制作準備 (1回)	ファッション マスター科
通年	研究テーマに関する情報収集	栄養 研究室

③展示企画

各種企画展を実施。その他、新しく受け入れた書籍を別置して月1回紹介している (ただし、8月・3月は除く)。

期 間	テーマ名	内 容
4/3～5/27	本屋大賞受賞作品 【ミニ展示】	カウンター脇テーブルにて受賞作品を展示。
4/25～5/30	貸出ベスト 20 冊 (2017年度)	昨年度貸出ベスト 20 の書籍を紹介。
6/4～6/29	あなたの心は何色ですか？	心理学関連の書籍を紹介。色彩心理テストパネルの展示。カウンセラーの説明あり。
7/2～8/31	夏読(なつどく)のススメ！	「味」「視」「触」から連想し涼しさを得られる書籍の紹介。
9/3～9/28	知ろう！備えよう！ 防災力を身に付けよう！	被災地ボランティアに関する資料の紹介。 * 第20回図書館総合展にて防災専門図書館のポスターセッションに掲載。
10/1～10/31	料理レシピ本大賞 inJapan2018	料理レシピ本大賞各賞書籍の紹介。
11/1～11/30	アートの秋	学校の各分野と芸術をかけたテーマの書籍紹介。コラージュ作品制作体験。
12/3～1/15	クリスマス アドベントカレンダー	学生と教員からおすすめ書籍を推薦者のコメントと合わせて紹介。
2/21～3/20	働くことの魅力を探る	職業、就職、仕事小説の紹介。

④その他

新しい取り組みとしては、ボックスファイルで整理していた調理師学校向け就職先企業パンフレットを利便性のよい差し替え式クリアファイルで平成30年度より管理することとした。併せて図書管理システムを使って目録データの整備を行った。目録データを入力することによって、708件のパンフレットをオンラインで所蔵検索ができるようになった。作業は調理師学校教務部と連携して行い、現在も継続中である。

平成29年6月～9月の期間を試験的に室内での水分補給を許可したがトラブルもなかったため、平成30年度から容器の形状条件をつけて全面的に解禁とした。また、パソコン利用する場合は申込書を書かせて提出させていたが、図書・雑誌の貸し出し時と同様に学生証で申し込ませ、図書管理システムで処理できるようにした。

職員の研修として、第20回図書館総合展の「読書をひろげる！」「学生に愛される図書館づくりへ」「Life with Reading-読書の秘訣カードの活用事例報告」を図書室司書が受講している。

令和元年度は、年間運用費縮小・周辺機器管理の負担軽減・利用者の使い勝手の向上を目指し、図書管理システム（情報館）の入れ替えを行う。図書室ウェブサイト、蔵書検索システムを4月よりリニューアルする。

(9) 委員会活動について

平成30年度の委員会活動日程は以下のとおりである。

(ただし、学校単独での委員会については『Ⅲ. 学校別事業報告』にて記載)

<ハラスメント防止委員会>

委員長 酒井 亜希子 (武蔵野栄養専門学校教務部スチューデントサポート課員)

委員数 10名

開催日時	平成30年 5月 8日 (火)	16時30分	参加者 10名
	平成30年 5月 22日 (火)	16時30分	参加者 8名
	平成30年 6月 14日 (木)	16時30分	参加者 10名
	平成30年 10月 27日 (金)	16時30分	参加者 9名
	平成30年 11月 2日 (金)	16時30分	参加者 7名
	平成30年 12月 20日 (木)	16時30分	参加者 8名
	平成31年 3月 4日 (火)	15時	参加者 9名

<衛生委員会>

委員長	上村紀夫（法人事務局長 兼 総務部長）		
委員数	7名		
開催日時	平成30年 6月12日（火）	16時30分	参加者 7名
	平成30年 9月11日（火）	16時30分	参加者 7名
	平成30年12月 4日（火）	16時30分	参加者 5名
	平成31年 2月26日（火）	16時30分	参加者 6名

<防火防災管理委員会>

委員長	上村紀夫（法人事務局長 兼 総務部長）		
委員数	11名		
開催日時	平成30年 6月29日（金）	16時30分	参加者 11名
	平成30年11月 6日（火）	16時30分	参加者 11名
	平成31年 2月28日（木）	16時30分	参加者 10名

<人格教育委員会>

委員長	後藤人基（理事長）		
委員数	13名		
開催日時	平成30年 5月 8日（火）	14時	参加者 13名
	平成30年 7月10日（火）	14時	参加者 12名
	平成30年 9月26日（水）	14時	参加者 11名
	平成30年12月 4日（火）	14時	参加者 13名
	平成31年 2月22日（金）	14時	参加者 11名

（10）主な行事日程について

平成30年4月4日（水）	（会場）東京芸術劇場
専門学校3校による「平成30年度 合同入学式」	
平成30年4月5日（木）	（会場）東松山市民文化センター
武蔵丘短期大学「平成30年度 入学式」	
平成30年4月10日（火）	（会場）武蔵野調理師専門学校校舎
武蔵野調理師専門学校「調理師科夜間部 64期生 入学式」	
平成30年6月2日（土）	（会場）武蔵丘短期大学体育館
武蔵丘短期大学「スポーツフェスティバル2018」	
平成30年9月28日（金）	（会場）ホテル椿山荘東京
武蔵野調理師専門学校「調理師科夜間部 第63期 卒業式」	
平成30年10月6日（土）	（会場）後藤学園総合グラウンド

専門学校3校による「平成30年度 総合体育祭」

平成30年11月10日（土）11日（日） （会場）武蔵丘短期大学校舎
武蔵丘短期大学

「第28回 武蔵丘祭 吉見大作戦2018 ～地元の愛を感じな祭～」

平成31年2月2日（土）3日（日） （会場）専門学校3校校舎
専門学校3校による「総合学園祭～2019卒業作品展～」

平成31年3月13日（水） （会場）ホテルメトロポリタン
専門学校武蔵野ファッションカレッジ「平成30年度 卒業式」

平成31年3月14日（木） （会場）ホテルメトロポリタン
武蔵野栄養専門学校「第48期生 卒業式」

平成31年3月15日（金） （会場）ホテル椿山荘東京
武蔵野調理師専門学校

「調理師科昼間部51期 卒業式」

「高度調理経営科23期 卒業式」

「ダブルプログラム科10期 卒業式」

平成31年3月18日（月） （会場）川越プリンスホテル
武蔵丘短期大学「第27回 卒業証書・学位授与式」

II 事業の概要

* 数値は小数第2位以下を切り捨てて表記

1. 入学定員及び学生数

学校	学科・専攻	修業 年限	入学 定員	入学 者数	充足率	収容 定員	平成30年度 在籍者数			充足率		
							計	男	女			
専門学校 武蔵野 ファッション カレッジ	アパレル プロフェッショナル科	2年	30	27	90.0%	60	37	4	33	61.6%		
	ファッション スタイリング科	2年	60	36	60.0%	120	60	12	48	50.0%		
	ファッション マスター科	1年	10	3	30.0%	10	3	0	3	30.0%		
	小計		100	66	66.0%	190	100	16	84	52.6%		
武蔵野 調理師 専門学校	調理師科	昼間部	1年	240	205	85.4%	240	205	149	56	85.4%	
		夜間部	専門 課程	1年 6か月	40	19	47.5%	80	37	22	15	46.2%
			高等 課程	1年 6か月	40	3	7.5%	80	4	3	1	5.0%
	高度調理経営科	2年	200	180	90.0%	400	365	288	77	91.2%		
	ダブルプログラム科	2年	200	112	56.0%	400	236	65	171	59.0%		
	小計		720	519	72.0%	1200	847	527	320	70.5%		
武蔵野栄養 専門学校	栄養科	2年	240	179	74.5%	480	359	55	304	74.7%		
	小計		240	179	74.5%	480	359	55	304	74.7%		
武蔵丘 短期大学	健康栄養専攻	2年	80	59	73.7%	160	139	12	127	86.8%		
	健康スポーツ専攻	2年	80	76	95.0%	160	131	35	96	81.8%		
	健康マネジメント専攻	2年	40	11	27.5%	80	21	0	21	26.2%		
	小計		200	146	73.0%	400	291	47	244	72.7%		
合計			1260	910	72.2%	2270	1597	645	952	70.3%		

* 平成30年5月1日現在の数値とし、学校基本調査（文部科学省）および学校法人
基礎調査（日本私立学校振興・共済事業団）の数値と一致する。

2. 教職員数

	常勤教員等					非常勤 教員	事務 職員	在籍者	在籍者数÷ 常勤教員等
	校長 学長	教員	専門学校 助手	専門学校 教務職員	計				
法人事務局	-	-	-	-	-	-	17	-	-
専門学校 武蔵野 ファッション カレッジ	1	8	-	-	9	20	1	100	11.1
武蔵野調理師 専門学校	1	37	19	13	70	61	8	847	12.1
武蔵野栄養 専門学校	1	15	13	-	29	30	7	359	12.3
武蔵丘 短期大学	1	25	-	-	26	31	13	291	11.1
合計	4	85	32	13	134	142	46	1597	11.9

* 平成30年5月1日の教員数を記載している。

* 法人事務局の事務職員数には、常勤役員（1名）は含まない。また、三専門学校の事務職員16名（ファ1・調理8・栄養7）は、学校法人会計人件費計上の都合により、法人事務局の事務職員を割り当てている。

* 専門学校武蔵野ファッションカレッジの教員の人数は、専修学校設置基準が定める要件を満たす者を算定している。

* 武蔵野調理師専門学校の教員及び助手（調理実習）の人数は、調理師養成施設指導要領が定める要件を満たす者を算定している。なお教務職員（学校法人後藤学園管理規程第4条第1項第1号で定める職員）とは、同校において教員・助手ではない者のことである。

* 武蔵野栄養専門学校の教員及び助手の人数は、栄養士法施行規則及び栄養士養成施設指導要領が定める要件を満たす者を算定している。

* 武蔵丘短期大学の教職員数は、事務職員と教授を兼任している1名を「教員」として計上しており、また学校法人基礎調査（日本私立学校振興・共済事業団）では報告していない事務職員を計上しているため、同調査の報告数とは異なる。教員の内訳は、副学長1名・教授9名・准教授4名・講師6名・助教2名・助手3名。

Ⅲ 学校別事業報告

1. 専門学校武蔵野ファッションカレッジ
2. 武蔵野調理師専門学校
3. 武蔵野栄養専門学校
4. 武蔵丘短期大学